

# し ぶ し 志布志



市議会だより

No.48

2018.2.9 発行



## 第13回ジョガー駅伝 総勢93チームが健脚を競いました



一般会計補正予算 .....	3
市営住宅入居者の収入申告義務を緩和 .....	6
8議員が一般質問 .....	7
特別委員会調査結果報告 .....	15



**12月  
定例会**

## 平成29年 第4回定例会

平成29年12月定例会を12月4日から12月20日までの17日間開きました。

一般会計・特別会計（国民健康保険・介護保険・下水道管理・工業団地整備事業）の補正予算、ダグリ公園の公園施設ほか5施設の指定管理者の指定など議案22件を審査し、原案のとおり可決しました。

また、平成28年度の一般会計（歳入249億2872万8千円、歳出243億2208万2千円）と特別会計（歳入112億2598万7千円、歳出106億5505万8千円）の決算を認定、志布志療育センターにここにはうす親の会より提出された「育ちにくさをもつ子ども」及び「障がい児」とその「家族」が安心して暮らせる地域生活を求める陳情書は採択されました。

一般質問は8名の議員が農業振興、政治姿勢、教育行政などについてたどしました。

**A** 3年間では安定した経営や長期的な計画が困難であることや人材育成、設備投資の観点から5年間が妥当という結論に至った。

**Q** 指定期間を3年間から5年間に変更した理由は。

**A** 現在、指定管理施設8か所、ホテル18か所を運営しており、そのうち指定管理施設4か所の維持管理業務をこの会社が請け負っている。

**Q** ボルベリアダグリの維持管理業務をビルメンテナンス専門会社に委託するとしているが、指定管理者が関わる他の施設において実績があるのか。

**6施設の指定管理者を新たに指定**

各委員会での質疑応答は4頁から

**本会議での質疑応答**

### 6施設の指定管理者を指定

施設名	指定管理者	指定の期間
ダグリ公園の公園施設 (国民宿舎ボルベリアダグリ及び展望台)	株式会社 グリーンハウス	平成30年4月1日から 平成35年3月31日
志布志市市民センター	志布志市 社会福祉協議会	平成30年4月1日から 平成32年3月31日
志布志市老人福祉センター		
志布志市老人憩の家		
志布志市健康ふれあいプラザ		平成30年4月1日から 平成35年3月31日
志布志市農業管理センター 及び新規就農者研修施設	志布志市 農業公社	平成30年4月1日から 平成35年3月31日

**Q** 事業計画では43名の雇用を計画しているが、現在の従業員は継続して雇用されるのか。

**Q** 市民センター、老人福祉センター、老人憩の家の指定期間を5年間に2年間に変更した理由として、社会福祉協議会の組織再編が挙げられているが、今後の職員の配置計画は。

**A** 現在の従業員数は38名であるが、公募の際の募集要項にも従業員の継続雇用にも努力するよう明記している。指定管理者側も地元雇用の創出と施設の円滑な引継ぎを行うため、現在就業中の従業員を最大限引き受けよう配慮するとしている。

**A** 職員の配置については、社会福祉協議会の理事会や評議員会等で協議しながら進めていく形になるが、2年間という期間で今後議論を深めていくことになる。

# 一般会計

## 12月補正予算

# 保育士処遇改善に関する支援措置を追加

一般会計の補正予算は保育所運営事業や農業用施設災害復旧事業など、合計で9032万1千円を追加し、予算総額は261億2006万円となりました。

### 企業立地促進補助金等交付事業 269万円

補助金交付指定工場の操業開始による設備投資額等の確定に伴い、補助に係る経費を増額します。

### 保育所運営事業(保育所・認定こども園運営費) 3903万円

保育士の職務・職責に応じた処遇改善を行うことにより、施設・事業所におけるキャリアアップの仕組みづくりを支援します。

### 松くい虫伐倒駆除事業 821万円

保安林松林におけるマツノザイ線虫被害の松が予定した数量より増大したため、伐倒駆除に係る処理費用を増額します。

### 農業用施設災害復旧事業(補助) 2200万円

9月豪雨で被災した農地及び農業用施設を補助災害復旧事業として実施します。



9月豪雨による被災状況

(全会一致で可決)

道路整備事業に係る国の補助率等の高上げ措置が、平成29年度までの期限措置となっており、低減あるいは廃止となれば、本市にとって致命的な問題となるため、平成30年度以降も継続し、地域の財政状況等を考慮した措置を取るよう要望するもの。

道路事業予算の総額確保等に関する意見書について



**A** 研究会は大隅4市5町の担当課長や大隅地域の収集運搬業者、衛生自治会の代表者など13名による構成となっており、補助金については、会議開催に伴う自治体関係者以外の出会謝金である。

**Q** 研究会の構成と補助金の内容は、  
**大隅地域紙おむつ再資源化研究会**

一般会計補正予算(第4号)

採択

主な意見として、昨年に引き続き提出された陳情であるが、今回新たに保護者等のアンケート調査結果も添付されている。結果を十分に精査した上で、関係者に寄り添いながら、課題への適切な対応に努めるとともに現状をしっかりと受け止めるためにも、本陳情については採択すべき。

**A** 11月から子育て支援を立ち上げ、登録を呼びかけている。今後は人材バンクの充実とその活用を努めていきたい。

**Q** 愛泉福祉会が来年度以降、学童保育から撤退するとの声を聞くが、人材確保の課題にどう対応していくのか。

「育ちにくさをもつ子ども」及び「障がい児」とその「家族」が安心して暮らせる地域生活を求める陳情書



岩手県一関市議会  
環境政策について  
2月1日(木)

富山県氷見市議会  
環境政策について  
1月31日(水)

岡山県玉野市議会  
環境政策について  
1月22日(月)

福岡都市圏議長会  
ふるさと納税について  
1月18日(木)

福岡県大牟田市議会  
環境政策について  
1月15日(月)

福岡県福津市議会  
農業政策について  
1月12日(金)

熊本県高森町議会  
農業公社について  
11月14日(火)

他市町村からの行政視察

下野 太志氏(志布志)

川邊 繁久氏(野神)

固定資産評価審査委員会委員の3名の選任に同意しました。(再任)

固定資産評価審査委員会委員の選任に同意

# 国民宿舎ボルベリアダグリ及び展望台の指定管理者を指定

## 総務委員会

**ダグリ公園の公園施設の指定管理者の指定について**

株式会社グリーンハウスを指定管理者の候補者とし、管理期間を平成30年4月1日から平成35年3月31日までの5年間とするもの。

**Q** 43名の職員で運営する計画だが、本社からの社員はどの部署に何名配属される予定なのか。

**A** 支配人と、当初のみ料理長も派遣される。また、ビルメンテナンス業者からは施設維持管理責任者が派遣される計画である。

**財産の取得について**

臨海工業団地3工区の土地を、志布志市土地開発公社から購入するもの。

**Q** 土地取得後の工業団地整備計画は。

**A** 議決後、市が土地を開発公社から土地を買い取る。選定委員会において分譲先が決定され、



臨海工業団地3工区

市と分譲先の間で土地売買の仮契約を締結。その後、土地売買の議案を上程する。土地の取得者は県に開発行為の申請を上げ、許可が下り次第造成に入る。分譲の条件に土地取得後3年以内に操業することとしている。

**一般会計補正予算(第4号)**

(財務課)

**Q** 普通財産払い下げに伴う売却収入が計上されているが、隣接地の以前の事例における払い下げ単価と、今回の単価を比較した場合の差は。

**A** 工場敷地の購入時は1㎡あたり3200

円、今回払い下げる単価は1㎡あたり1690円である。

**(企画政策課)**

**Q** 立地企業に新規雇用される方が、本市に転入した場合に家賃を助成する民間賃貸住宅家賃助成事業について、今回の600万円の減額補正の原因は何か。

**A** 立地企業への新規雇用者は増えているが、市外に住む方が見込みより多かったことが原因である。

**(港湾商工課)**

**Q** 商工業資金利子補給金交付事業について、200万円の増額補正がされているが、融資の総額は。

**A** 総額17億6658万円の融資に対し、利子補給を行うものである。

**工業団地特別会計補正予算(第2号)**

**Q** 今回臨海工業団地5工区の測量設計業務として1000万円増額

されているが、金額は妥当か。

**A** 建設課に積算を依頼し、公共単価を用いて算定されており、面積が10・9haと広いための金額になっている。

**志布志市特別職の職員の給与に関する条例等の一部を改正**

**Q** 人事院勧告から市の対応、そして本市の議案上程までの経過は。

**A** 8月8日に国の人事院勧告が出され、10月5日の県人事委員会勧告を受け、市内民間企業の状況を調査し、ハローワークでの求人倍率が1・36倍、パートタイムについても1・12倍であることを確認した。また、

財務課へ納税者の所得状況を調査し、毎年度所得額が上がってきていることを確認した。県の最低賃金も737円に引き上げられており、それらのことを踏まえて今回の議案上程となった。

**志布志市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正**

**Q** 景気動向を踏まえた提案となっているが、臨時・嘱託職員への対応はどのように検討したのか。

**A** 県の最低賃金が10月1日に737円に引き上げられ、市内の企業や県内自治体の動向、来年の上げ幅等を勘案すべきという市長の指示で調査を行った結果、40円アップの760円とし、10月1日から適用することとした。

**一般会計補正予算(第5号)**

人事院勧告及び改正法案に準じた給与改定分の補正予算。

(総務課)

**Q** 職員の平均年齢と、今回の人事院勧告による改正後の平均給与月額は。

**A** 平均年齢は42・8歳、平均給与月額額は31万8234円である。

# 新小学1年生への入学準備金3月支給実施

## 文教厚生委員会

**志布志市城山総合公園及び志布志運動公園の運動施設管理条例の一部を改正**

**Q** 人工芝サッカー場の使用料はいくらか。また、減免規定はあるのか。

**A** 本市の地理的背景等も考慮し、観客から入場料を徴収しない場合1時間当たり1000円とした。減免についてはこれまでと同様、スポーツ少年団での使用等内規で定めている。

**学林地の立木の処分について**

**Q** 立木処分に係る収入金320万円の使途は。

**A** 志布志市学林地条例により学校及びPTA以外の経費に充てることはできないと規定されており、小中一貫型小・中学校としてスタートする来年度において、PTAで協議、検討されると認識している。

**市民センター及び老人福祉センター、老人憩の家、健康ふれあいプラザの指定管理者の指定について**

**Q** 5年から2年への指定期間短縮は、社会

福祉協議会からの申し出か。

**A** 社会福祉協議会の運営や財源確保、組織再編等に関する協議を重ねてきた結果を踏まえた社会福祉協議会からの申し出によるものである。



市民センターでの現地調査

**Q** 市民センターについては、老朽化や安全性が懸念されているが、指定管理の在り方は。

**A** 社会福祉協議会も移転したいとの意向であるが、現状では、指定管理の期間を2年間でとの申し出であったため、状況を踏まえた選定となっている。提案した管理の期間については、社会福祉協議会の理事会、評議員会を経て承認された事項である。今後は、

早い時期に代替施設への移転が図られるよう協議していく。

**Q** 代替施設については社会福祉協議会が主体的に確保していくのか。

**A** 社会福祉協議会と協議を重ねながら、選定していきたい。社会福祉協議会の理事会、評議員会の承認の下で安心安全な環境に移転していただく形をとっていききたい。

**Q** 今後、指定管理期間中であっても、代替施設が確保されれば移転するということか。

**A** とにかく早い段階で環境が改善されるような取り組みをしていきたい。

**一般会計補正予算(第4号)**

(教育総務課)

**Q** 新小学1年生への入学準備金の入学前支給をどのように周知するのか。

**A** 就学通知書送付にあわせ、入学準備金の

案内チラシ、申請書を同封し、新入学予定児童全員の保護者に周知する。

**Q** 転入者への対応は。

**A** 申請期限である1月31日以降の転入者については、7月に新入学児童生徒学用品費として支給する。

(市民環境課)

**Q** うなぎの駅の騒音測定に至った背景は。

**A** 冷凍庫等の騒音に関し、苦情が寄せられ、協定内容に基づく事業者による騒音測定調査が実施されたが、基準値を超えていたため、防音パネル設置等の対策が進められている。周辺住民の理解を得られるよう防音対策等完了後の2月に再調査する予定である。

(福祉課)

**Q** 保育士の技能・経験に応じた処遇改善に伴う扶助費が増額されているが、対象となる園及び対象者数は。

**A** 18の保育園・認定こども園に周知し要望を聞いたが新たに副主任

保育士などの役職整備の条件を満たした13園が希望された。市内の支給対象者は147名である。

**国民健康保険特別会計補正予算(第2号)**

**Q** 一般被保険者高額介護合算療養費38万7千円の内容は。

**A** 医療保険及び介護保険の自己負担の合計額が著しく高額になった世帯の負担を軽減する仕組みが平成20年4月から開始されており、支出見込額の不足分を増額補正する。

**介護保険特別会計補正予算(第2号)**

**Q** 地域自立生活支援事業による配食数が増加した要因は。

**A** 複数ある配食事業の新規申請時の対象区分を介護認定の有無、年齢等において見直したため、本事業による対象者が増加した。

# 市営住宅入居者の収入申告義務を緩和

## 産業建設委員会

### 志布志市営住宅管理条例の一部を改正

**Q** 今回の条例改正で緩和措置の適用となる対象要件と本市の対象者数は。

**A** 対象者については、認知症の場合は医師の診断書がある方で、そのほか療育手帳や精神障害者保健福祉手帳を持っている方が対象となる。また手帳を持っていないなど、これらに準ずると思われる方については、医療機関等の意見書に基づき対象者とみなすこととなる。既存入居者のうち今回の緩和措置が適用となる方は6名である。

### 志布志市やっちくふるさと村条例の一部を改正

**Q** 温室部分は、やっちくふるさと村の構成施設の一部であったが、これまで指定管理の対象施設としては含めていなかったのか。

**A** 開設当初は(株)やっちくふるさと村が施設全体の管理運営を行っていたが、温室部分につ

ては採算が取れず、運営が厳しい状況であったため、指定管理施設と切り離し、行政財産としてこれまで貸し付けを行っていた。

**Q** 温室部分の今後の活用について、どのように考えているのか。

**A** 市としても一体的な管理が望ましいと考えているが、現在の指定管理者に確認したところ、農業部門である温室部分の運営管理は困難であるとの回答であった。設置後20年近くが経過して劣化もあるが、現状のままでの有償貸し付けとし、農業関係で有効に活用できるように広く周知していきたい。

### 志布志市農業管理センター及び新規就農者研修施設の指定管理者の指定について

**Q** 農業公社の職員は15名体制であるとのことだが、全て正規の職員か。

**A** 局長と課長がそれぞれ1名、係長が3名、

職員が2名の合計7名が正規の職員である。そのほか再任用職員3名と臨時職員と同様の取扱いである準職員が5名である。

### 一般会計補正予算(第4号)

#### (農政畜産課)

**Q** 産地パワーアップ事業について、事業主体である志布志オニオンクラブの組織構成及び計画面積の概要と、本市の玉ねぎ生産はどのような状況か。

**A** 志布志オニオンクラブは1法人と個人農家2戸で組織されており、面積は田之浦地区と志布志地区で10haの作付けを計画している。本市における加工用玉ねぎの生産実績はまだないが、近年カット野菜の需要が高まっていることや県の畑かんセンターでも実証が行われたことを受け、この事業主体も今年から作付けを開始した。

**Q** 平成34年度に鹿児島県で開催される全国和牛能力共進会対策とし

て県が指定する優良種畜の導入に1頭あたり5万円を助成する予算が計上されているが、県が指定する対象牛は何か。

**A** 対象牛については気高系が11頭、栄光系が3頭、但馬系が5頭などとなっているが、そのほか適正交配牛としての指定もあり、県内牛のほとんどが対象となっている。

#### (建設課)

**Q** 嘱託職員報酬の補正で道路維持費と公園費の1人当たりの増額分に開きがある理由は。

**A** 公園費の嘱託職員報酬については、公園管理作業員6名のうち機械を使用しない作業員が2名含まれており、報酬単価が安いいため、道路維持費との増額分に開きが生じているものである。

#### (耕地林務水産課)

**Q** 松くい虫伐倒駆除事業について、松を枯らす直接の原因であるマツノザイ線虫の駆除対策については、伐倒駆除のほかには方法はないのか。

**A** 予防的な対策として毎年航空防除や地上防除、薬剤の樹幹注入などを行っているが、枯れてしまった場合の駆除については伐倒・燻蒸処理している。

**Q** 今回の補正でどれぐらいの本数の処理を行う予定か。

**A** 今回の補正では1100本程度を見込んでおり、当初予算とあわせて500mの1250本程度を予定している。



地上防除のようす



野村 議員



▶ 動画視聴

# ストップ 人口減少

## ▶ 検証し効果的運用を図る

**野村広志議員** 現在「高校生が残りたくなる地域づくり」について志布志高校の生徒と鹿児島国際大学の学生でグループワークが進んでいる。こういった若者の主体的な行動を市としても受け止めていく考えはないか。

### 有り難いことだ

**市長** 将来の地域について、学生から気付きを与えてもらい、若者が目を向けて地域のことについて改めて見直す機会になり、興味・関心を持つてもらおうということは非常に有り難いことだと考えている。

### 中・高連携について

**問** 高・大連携の取り組みが、将来的に中・高の連携につながれば理想的な活動になると考えている。中学生が主体的に残したくなる志布志についての意見をとりまとめ、そのことを高校生がサポートしていく取り組みについて、見解を示せ。

### 意義あることだ

**教育長** 高校生が中学生をサポートしながら相互の学びを広げたり深めたりしていく学習活動の在り方については、現在の各学校の取り組みを基本として、さらに学習方法や内容の工夫、充実が図れないものか、中学校、高校、教育委員会の間で研究や協議を進めていくことは意義のあることだと考えている。



餅つきを楽しむ子どもたち

### 人口減少社会へ 取り組む財源は

**問** 国の交付金による事業推進が図られているが、財源が十分に確保できなくなった場合、今後の方向性について考えを示せ。

### 十分に検証し 効果的活用を考える

**市長** マネージメントシートを活用して、事業の評価を行っている。一部は成果指標の見直しや事務事業の廃止・統合も必要であると感じている。事業の実施には財源の確保が重要であり、費用対効果等についても十分検証しながら補助事業や交付金事業の活用、そして基金の造成などを工夫しながら一般財源の効果的な活用を考えている。

### 農業振興について

### 所得に反映されてきたか

**問** 本市にとって農業が基幹産業である中、これまで進められた政策が農業生産者の所得にどの程度反映されてきたのか。

### 把握は容易でない

**市長** 農業者の所得は、気候や相場の影響を受けやすく、一概に比較することは容易ではないが、把握している本

市のデータでは、平成24年の農業所得は、301万5千円、平成26年には312万4千円、平成28年には330万6千円となっている。

### 収入保険制度について

**問** 新たに導入される収入保険制度については農業生産者にとって経営の安定化を図る制度であると思うが詳細について示せ。

### 周知を図る

**市長** この制度は農家経営全体の収入が減少した時に減収部分の一定割合を補償するもので、病気で仕事ができなかった時や資材が高騰して減収する場合も適用になる。過去の農業収入を補償の基準とするため、青色での税申告が条件で肉用牛の肥育経営安定特別対策事業や野菜価格安定対策事業などの重複加入はできない。30年の秋より加入手続きが始まるので事務取り扱いを連携して周知を図って

いきたい。

### GAPの取得は 進んでいるか

**問** 東京オリンピック・パラリンピックを契機に世界基準のGAPを取得し、本市の農産物を積極的に提供する取り組みを生産者と進めていく考えはないか。

### 取得の支援を行う

**市長** 本市をPRできる絶好のチャンスであるため、生産者へ周知を図り、取得の支援をしていきたいと考えている。

※GAP（農業生産工程管理）農業における食品安全、環境保全、労働安全等の持続可能性を確保するための生産工程管理の取り組み。これを取り入れることで市場競争力の強化、品質の向上等に資するとともに、消費者の信頼の確保が期待される。



小野 議員



動画  
視聴

# 2025年問題についての認識は

## 社会保障改革と地域創生を一体的に進めていく

**小野 副議員** 2025年には、これまで国を支えてきた団塊の世代が75歳以上の後期高齢者になり、各種社会保障の給付を受ける側に回るため、医療、介護、福祉サービスへの需要が高まり、社会保障財政のバランスが崩れるとの指摘がある。どう認識しているのか。

**取り組みが可能かと思う**

**市長** 介護予防で1日1万歩歩く市民運動がかなり効果があることについては、もう一度勉強をする。取り組みが可能ではないかと思う。

**福祉総合センター設置は**

**地域福祉計画を**

しっかりと位置付け、その中で、志布志市福祉総合センターを設置し施策を展開しないと今後の少子高齢化対策は追いつかない。どう思っているのか。

**設置は必要**

**市長** 総合福祉センターは本来に必要と常に考え、設置したいと思っている。指摘のように市役所全体の事業とも関わってくるので、新しい市役所と福祉センターが欲しいという話はしているところである。

**高齢者福祉の充実を図れ**

**問** 地域包括ケアシステムの構築の要は、医療と介護の連携や、切れ目のないサービスが構築され、高齢者福祉が充実しているかが鍵となる。本市の現状と今後のさらなるシステム構築をどう考えているのか。

**身近なサービスに努める**

**市長** 今後ともさまざまな生活課題を「自助・互助・共助・公助」の考え方の下、連携を図り協議を重ねながら、身近なところで必要なサービスが受けられるような地域づくりを目指して、地域包括ケアシステム構築に努める。

**ヘルプカードの普及を**

**問** 障がいや難病を抱

えた人が、必要な支援をあらかじめカードに記し、緊急時や災害時などの困った際に提示し、周囲の配慮や手助けをお願いしやすくなるヘルプカードを作成し、配布する動きが全国の自治体で広がっている。今後、広域で使えるようにするためにも、統一した環境で普及促進を図るべきではないか。

**県内統一した普及が必要**

**市長** ホープカードという名称で、障がいや難病等を抱えた方の支援策の一環として、志布志市、曾於市、大崎町で試験的な適用を行ったが、市民への制度周知については、現在のところ十分とは言えない状況であると認識している。利用者が県内どこでも安心して社会参加できるように、

**教職員の負担軽減策は**

**問** 文部科学省が発表した公立小中学校の勤務実態調査によると、過労死の目安とされる週60時間を超えて働いている教員は、小学校で35・5%、中学校で57・7%に上っており、過密な勤務実態が明らかになった。本市の教職員の勤務状況と負担軽減に向けた取り組みはどうなっているのか。

**負担軽減に取り組んでいる**

**教育長** 本市においても、同様の課題を抱えている。負担軽減の取り組みとしては、会議の回数を減らしたり、会議資料をデータ化して、作成作業の効率化を図ったりしている。また、ノー部活デーと称する休養日を週2回、設定するなどしている。

## 2025年問題！?



地域包括ケアシステム

**1日1万歩運動について**

**問** 歩くことが大事だということ、俗に言われている。自治体に

**市長** 社会保障改革と地方創生を一体的に進めていき、住み慣れた地域において医療、介護、福祉サービスを充足させるとともに、就労の場を創出、拡充し、年少人口及び生産年齢人口を維持していくことが重要課題であると認識している。



八代 議員



▶ 動画視聴

# この4年間の総括は

## ▶ 8割以上を達成した

**八代 誠議員** この4年間をどのように捉えているか。

**市長** 公約実現の検証を行ったところ、8割以上の目標を達成できたと考えている。市民の期待に応じられるよう誠心誠意努力したが、財政が厳しい中、一部においてその期待に応えられなかったものもある。

**達成できなかった主な課題は**

**問** 市民の期待に応えられなかったこと、公約達成できなかったこと。市長が考える主な課題は何か。

**都市基盤と産業経済分野に課題があると認識している**

**市長** 主に商店街のにぎわい、公共交通の便利さ、雇用就労の場の確保、医療体制の充実などに課題があると認識している。

**ごみステーションの現状や対応は**

**問** 1戸建て住宅あるいはアパートやマンションなどの集合住宅に設置されているごみステーションの周りには、ごみが散乱していることがある。当局はこの現状をどのように把握し対応しているのか。

**20か所ほどを把握している**

**市長** 1戸建て住宅やアパートやマンションに設置されているごみステーションで、ごみが散乱しているところを20か所程度把握している。管理者及び入居者に対して勉強会を開催し、適切なごみ出しの説明、指導を行い、改善を求めていく。

**回収されない原因は**

**問** ごみステーションに、出されたはずのごみがどんな原因で、回収業者により回収されないのか。

**名前が書かれていない**

**市長** 市が委託する収集運搬業者が回収しないごみは、指定袋以外のもので、回収できない種類のもので、正しく分別されていないものである。回収されないごみのほとんどが、名前が書かれていないものである。



シールが貼られた違反ごみ

**市衛生自治会負担金と分別報奨金の仕組みは**

**問** 1世帯が年間会費200円を負担することと、年度末に分別報奨金として還元されるが、その仕組みをさせ

**700万円還元している**

**市長** 皆さんが分別に協力いただいた結果と

して、資源ごみの売却収入がある。そのうちの700万円を市衛生自治会から、単位衛生自治会に対して、分別報奨金として支払っている。399衛生自治会、1万937世帯に対して支払っている。

**民間管理の衛生自治会には支払っているのか**

**問** 民間が管理している1戸建て住宅や集合住宅については分別報奨金を支払っているのか。

**支払っている**

**市長** 昨年実績では60のアパートやマンションなどの646世帯から負担金をいただき、同数に分別報奨金を支払っている。

**環境学習会の実績は**

**問** 民間が管理する1戸建て住宅や集合住宅における環境学習会の実績はあるのか。

**過去にはあるが、今年度は申請がない**

**市長** 環境学習会には5000円の補助金を交付している。過去には2回あるが、今年度は申請がない。

**補助事業の見直しはできないか**

**問** 市衛生自治会が示している補助事業は複数ある。民間が経営する集合住宅などでは、この事業を活用できないかと考える。補助事業の見直しはできないのか。

**対策を講じていく**

**市長** 高速道路や志布志港の整備が進み、1戸建てやマンション、共同住宅などが盛んに建設されている。この機会に全ての入居者に衛生自治会加入を働きかけ、市全体の衛生環境、住環境の保全についてさらに積極的に取り組んでいく。



持留 議員



動画視聴

# いちごブランドの産地指定を

## 生産者の意向を踏まえ進める

**持留忠義議員** 本市は県内有数の園芸地帯であるが、いちごについては、作付面積、農家数が年々減少傾向にあり、10年前から5割程度に落ち込んでいます。今後の対策をどのように考えているのか。

**市長** いちごの栽培は有明・松山地区を中心に行われており、被覆施設や省力化機械等への助成など面積の維持拡大を図っている。今後の新たな対策として、いちごを対象とした研修制度を検討中であり、現在、農業公社、JA、市の三者で協議を行っている。

### いちごブランドの産地指定は

**問** 県では安心・安全で品質の良いものを安定的に出荷し、市場や

消費者から信頼される品目を鹿児島ブランドとして指定している。本市においても県やJAと一体となり、いちごのブランド産地として指定を受けられるよう取り組めないか。

### 生産者の意向を確認して進めたい

**市長** 本市のいちごの栽培規模であれば産地指定の申請は可能であるが、指定を受けるには生産者の意向や熱意が必要なので、JAや生産者に確認しながら進めていきたい。

### 飼料用稲の管理について

**問** ここ数年、飼料用稲に病害虫が発生し、隣接する水稲にも影響があるが、病害虫対策をどのように取り組むのか。

### 団地化と防除に取り組む

**市長** 管理の不十分な飼料用稲のほ場にヒエなどの雑草が生えるとカラムシの大量発生の原因となる。今後は団地化を推進しながら畦払いや除草をお願いし、防除を徹底できるようにしていきたい。

### 有害鳥獣の被害状況は

**問** 数年前から有害鳥獣被害が増え、なかでもイノシシの被害が急増している。特に水稲や甘藷の被害は大きく、収量の減少だけでなく、生産者への精神的なダメージも大きい。最近の市内の被害状況を示せ。

### 3年間で60・09ha

**市長** 被害面積については、イノシシによる

ものが26年度で11・98ha、27年度で21・62ha、28年度で22・47haとなっており、合計の被害面積では26年度で13・12ha、27年度で23・38ha、28年度で23・59haとなっている。

### 捕獲事業等への補助金は

**問** 阿久根市では有害鳥獣捕獲活動事業や活動犬見舞事業などを実施し、解体処理施設の設置も行っているが、本市でもこのような取り組みを検討できないか。

### 関係機関と協議する

**市長** 活動犬への見舞金については、猟友会の意見を聞いて検討したい。また、解体処理施設の設置については、県と隣接市町との連携など広域での取り組み

を推進するよう要望していきたい。



イノシシの被害を受けた水田と畑

### 茶業振興について

**問** お茶の価格については、依然として低迷が続いているが、これまでのハード事業における実績とその効果を示せ。

### 高品質な茶葉が生産されている

**市長** これまで主に摘採機能付き除灰機を導入しており、降灰による茶の生育への被害や除去作業等の生産コストの軽減が図られ、高品質な茶葉が生産されている。また、碾茶用加工施設や遮光率の高い被覆資材の導入により、海外輸出や高収益栽培体系への転換などに取り組み、収益性の向上を図っている。

### 大麦若葉への収入保険制度の適用は

**問** 市内では大麦若葉の生産が急速に拡大しており、市場価格の変動で価格が低迷することが危惧されるが、収入保険制度は適用されないのか。

### 制度創設にあわせて周知を図る

**市長** 国が平成30年度に制度を創設し、31年度からスタートする予定となっている。今後は周知に努めていきたい。



平野 議員



▲動画  
視聴

# 地域活性化住宅 今後の方向性は

## ▶協議し年明け後には報告

**平野 議員** 有明地区の地域活性化住宅は、来年度から順次貸付期限の満了を迎える。市では今後の活用等に対する入居者へのアンケート調査を実施しているが、入居者からは今後どうなるのかといった不安の声を耳にする。民間事業者との協議が必要なことは理解するが今後の方向性はいつ頃示すことができるのか。

**市長** 平成30年9月から始めとし、平成30年度に25戸、平成31年度に12戸、平成32年度に10戸が契約満了となる。満了後の活用は市が関与できないため、居住者全てを対象とした契約期間満了に伴う意向調査、アンケート調査を実施した。その後2回のオーナー協議を行い、今後はそれぞれのオーナーが契約満了の期限を見据えながら、随時戸別訪問を行う。12月末に市役所とオーナーとの協議を行う予定であり、年明け後には、何らかの報告ができるかと考えている。



貸付期限の契約満了を迎える有明地区活性化住宅

### 家賃はどうなる

**問** 賃借が継続するようになった場合、家賃が上がるという話があったと聞いているが、今後の家賃はどうなっていくのか。

### 上がる方向

**建設課長** 先進事例の南九州市川辺町では、1年早くこの事業を導入しており、不動産業

### 安心できる

#### 展開についで

**市長** 入居されている皆さんに、不安感を持たれないような形での対応は指示している。その後について、希望等があれば、意見も十分承り、安心できるような展開にしていく。

### 消防災害支援隊の現状は

**問** 本市では八野地区に組織されているが、現在までの出動実績は。

### 出動はない

**市長** 消防災害支援隊としての出動実績はないが、平成27年に消防団員及び消防防災支援隊により、地震発生時の高齢者避難誘導及び声掛けによる避難確認等を行う防災訓練の実施や日頃においては、火災予防に努めている。

### 対象者の拡充は

**問** 本市の設置要綱では消防団退職者と規定

されているが、地域内には消防職員・自衛隊・警察官等の退職者もいる。対象者の拡充はできないか。

### 検討について

**市長** 入隊できる対象者の拡充については、調査研究及び消防団幹部等で協議を行い、消防職員や自衛隊OBなど、拡充する範囲について検討していく。

### 出動経費の支給は

**問** 組織を充実させていくには必要最低限の訓練等の出動経費、そういうものも必要になってくると思うが、支給についての考えは。

### 調査研究したい

**市長** 消防災害支援隊への手当は、支給はされていない。今後において、他の自治体の状況を調査研究していきたい。



丸山 議員



動画  
視聴

# 市有林等の松に対する対策は

## ▼今後については県と協議する

**丸山 一議員** 日南海岸国定公園内の飛砂防備保安林の松林と隣接する民有地の松が、菱田川からしおかせ公園付近まで大量に枯れ始めているが、その対応策は。

**市長** 線虫等の被害により枯れた松は全て伐倒・駆除・燻蒸処理した後、撤去するよう県知事より発令されている。

### 潮風に強い広葉樹と松を混栽したらどうか

**問** 20数年前より航空防除を行っているが、松は毎年枯れていく。効果が見えておらず、樹幹注入も費用がかさむため、潮風等に強い、トベラ、ウバメガシ、クロガネ、マテガシ、シイなどを松と混栽したらどうか。



線虫被害を受けた松林

### 県と協議する

**市長** 今後、松を含めた広葉樹など混栽した植林計画を県と協議する。

### 野井倉地区のハーフインター開設はいつか

**問** 東九州自動車道の野井倉地区にハーフインターが開設されるとのことだが、開設時期はいつか。

### 平成32年度になる

**市長** 先日、東九州自動車道の鹿屋串良・志布志間の整備については、平成32年度までに供用開始すると発表された。

### 市道の整備は

**問** 3年後の開設にあわせて、接続する市道の飯山・通山1号線と一丁田・宇都鼻線の未

整備箇所を整備すべきでは。特に国道220号線の有明病院前交差点の改良、野井倉地区交差点の改良、尙丸五から田尾橋間の歩道設置、肆部合交差点から旧下戸酒店間の野井倉土地改良区用の排水路の整備を急ぐべきではないか。

### 市道改良も行っていく

**市長** 有明病院前交差点の改良についてはハーフインターの開設に間に合うよう国に要望し、市道改良もそれにあわせて行っていく。肆部合地区の用排水路については、今後の維持管理を考慮して3面水路での改修を計画している。

**建設課長** 野井倉地区交差点の改良については、右折レーンの環境

整備を含めた道路改良になるため、現在、用地取得に向けた交渉を行っている。また尙丸五から田尾橋間の歩道設置については、過疎計画に基づき事業を進めていく。

**耕地林務水産課長** 野井倉土地改良区用の排水路の整備については、肆部合地区の場合整備とあわせて実施し、残地部分に余裕があれば、歩道設置も考えられる。



肆部合交差点付近の用排水路



鶴迫 議員



▲動画視聴

# 安楽地区にも公園の設置を

## ▶ 子ども広場的なものを整備していく

**鶴迫京子議員** 志布志・香月地区公民館には専用駐車場があるが、同じ条例公民館である安楽地区公民館にはない。市長の認識は。

**市長** 質問を受け、改めてこの駐車場は、山宮神社側の駐車場であることを認識した。神社側から今まで利用についての苦情や要望等は特になかった。神社側ときちんと整理して、市民の方々にこのことを知らせたい。

### 消防詰所跡地等の利用は

**問** 駐車場の候補地として安楽分団消防詰所跡地やJAそお鹿児島

安楽事業所跡地などの利用は考えられないか。

### 現在利用されている

**市長** 現在、消防詰所跡地は女性消防隊の活動の場として利用中である。JAそおの事業所跡地は荷物置き場として活用があり、この土地は取得できる状況ではない。

### 子ども広場の設置は

**問** 安楽地区には公衆トイレや駐車場等を完備した公園が1か所もない。公共施設の在り方として、公平性に欠けると思うが、公園が子ども広場の設置は考えられないか。

### 使いやすい形で整備する

**市長** 都市公園の整備の場合、地区公園となり4haの敷地が基準になる。都市計画区域内住民で1人当たり敷地面積の標準は10㎡である。区域内の都市公園としての整備は充足しているのと考えていない。しかし、子ども広場的なものとしては公園広場の面積次第になるが、トイレ等を考慮しながら、使いやすい利用度が上がる形での整備をしていく。

### 交通行政について

**問** 未来ある地域の宝を守るために、交通量の多い志布志小学校周辺の通学路エリアをゾーン30に指定できないかと平成28年6月に一般質問した。その後の進捗状況は。

### 速度抑制の取り締まり強化等を実施する

**市長** 志布志小学校付近を現地調査し、交通

規制等情報を記載したマップを作成した。8月に志布志市通学路交通安全プログラム推進会議において、国・県・警察の関係機関に情報提供を行っている。また、小学校付近の取り締まり強化等を行っていくことを確認した。

### 関係機関と協議していく

**教育長** 通学路におけるゾーン30の導入については、学校、地域の要望等を聞きながら担当課及び警察、道路管理者など関係機関と協議していく。

### 今できることは、ないのか

**問** 通学路の危険回避ということと道路管理者である市が、今の時点ですることを先に実施する考えはないか。

### 路面標示の検討をする

**市長** 歩行者の安全対策の一環として車道部と歩道部が目立つよう

に、外側線に青色のラインを引いたり、カラー舗装、「スピード落とせ」などの路面標示の検討を行っていく。

### 志布志高校に通う市外生徒にバス代補助を

**問** 現在、志布志高校に通う市内生徒に限りバス代を補助している。バスの定期代の負担が近隣市町からの通学のネックになっている。地域活性化と大隅半島の教育振興を図る観点で、生徒確保対策として市外生徒にも補助は考えられないか。

### さまざまない課題がある

**市長** 予算面や私立学校との関係等さまざまな課題がある。志布志高校は進学校としての実績を高めてもらい、そのことを積極的にアピールし生徒数の拡大を促進することが、継続性のある生徒確保へつながっていくと考え



安楽地区公民館前の駐車場



小園 議員



動画視聴

# 本庁舎の位置についての考え方は

## ▼検討委員会での議論が適当

**小園 議員** 市長とは12年間、本庁舎問題についてのやりとりをしてきた。選挙の時に住民の皆さんと約束したことを実現していくためには、こういうことになる。この間、自治法が求めているものや市民の声に基づいて議論してきた。今後5年10年経った時に耐用年数がくるが、市の第2次総合振興計画には

港を中心にという表現がある。志布志市をどういう方向に持っていくのか、そのために本庁舎の在り方はどのようになればいいという考えは持っていないのか。

**市長** 合併についてさまざまな協議がなされてきた。今後、それぞれ

れの施設において耐用年数がある。また10年先、20年先の市の組織はどうあるべきか、そのことも検討材料の課題と捉えている。さまざまな事業の進捗にあわせて、どのような位置が望ましいか、そのようなことの研究をさせてきた。今回まとめられて、次期の研究会をグレードアップしたものにつなげていける内容になっていく。期間をかけて研究を重ねたので、次期においては検討委員会となるのが適当ではないかと思っている。

### 本市への影響は

**問** 安倍内閣が食用米の自治体への生産数量配分を来年から廃止する。生産調整達成者へ10a当たり7500円

あったが本市への影響はどの程度か。

### 収入減となる

**市長** 平成28年産実績では対象面積309ha、対象者1109人に約2300万円交付していたので作付面積に応じて、米生産農家の収入減となる。

### 対策と国に声を挙げるべき

**問** 現在進めている事業へも影響がある。今後、どういった対策を考えているのか。また、国に対して声を挙げるべきと思うが考えはないか。

### 挙げ続ける

**市長** 市として独自の対策がとれないか考え



転機を迎える米の生産調整

ている。国に対しては、何らかの措置を講じるように声を挙げ続けていきたい。

**農政畜産課長** 収益の上がる作物を推進したいが、水はけの悪い水田もある。こうした農家には飼料用米への転換を提案したい。また、多収性の米の品種も出つつある。平成30年産から「なつほのか」については推奨していきたい。

### 継続してやるべき

**問** 店舗リフォーム助成制度を3年間行ってきた。来年度以降も継続して実施すべきと思うがどうか。

### ニーズに沿う

**市長** 平成27年度に事業を開始し、3年目を迎え、事業の継続を含め見直す時期であるが、地方における景気の回復、小規模事業者への継続した支援、商工業振興対策及び後継者の育成を図ることからも、より利用者のニーズに沿った事業として継続できればと考えている。

他に  
・教育行政について  
・職員の勤務の在り方について質問した。



市役所本庁舎

**まちづくり  
活性化対策等  
調査特別委員会**

「山積する課題に対し  
調査の継続を」

これまで約2年間  
「サンポートしづしア  
ピアやJR志布志駅を  
中心としたまちづくり

**志布志市  
まちづくり活性化対策等調査  
農林水産業活性化対策調査  
特別委員会  
調査結果報告**

**農林水産業  
活性化対策等  
調査特別委員会**

「社会情勢に注視しつつ  
先進事例等を継続調査」

これまで2つの調査  
項目について重点的に  
調査を行ってきたが、ブ  
ランド化の推進につい

の在り方」を中心に調査を進めてきた。調査の過程で、駅舎等整備事業のうちバスターミナル部分の先行整備などで一定の方向性が見えた部分もある。

しかし、そこから派生する、駅と一体となったサンポートしづしアピアの活性化、市道香月線を中心としたまちづくり、商店街の活性化や歴史のまちづくり、さらには、港湾・臨海工業団地の整

平成28年3月定例会で設置された2つの特別委員会（各委員会9人で構成）において、調査研究を行ってきました。任期満了を迎えるにあたり、12月定例会の最終日に報告書が提出され、それぞれの特別委員会は活動を終了しました。

では、年々需要も拡大し、新たな販路開拓が見込まれるなど明るい兆しが見え始めている一方で、安定的な作付体系の確立や生産基盤の整備など、多くの課題が残されている。

また後継者不足の問題については、さまざまな支援制度の活用を促すとともに個人や集落営農組織など推進体制の在り方についての現状把握と分析、導入可能な先進事例等の調査研究を行う必要

備、東九州自動車道や高規格道路の全面開通など、周囲の環境変化に伴う課題は、今後さらに山積していく。

これらの課題に対応するため、執行部の努力はもとより、特別委員会による調査を継続するため、平成30年の改選後の志布志市議会において、何らかの形で調査を継続し、対策が提言されることを委員一同が強く望むものである。

がある。

そのほか本市農業を取り巻く課題としてTPPの大筋合意による影響や農産物の輸出促進についても今後の社会情勢などを注視しながら調査に取り組む必要がある。

以上のことから、平成30年の改選後においても特別委員会による調査を継続し、農業に関する諸課題解決へ向けた対策が提言されることを強く望むものである。



需要が見込まれる花木ブランド (シキミ)



バスターミナルの整備が進むJR志布志駅

**産業建設委員会 所管事務調査**

- 視察日 10月28日
- 視察先 始良中央家畜市場
- 調査事項 県ホルスタイン共進会

県ホルスタイン共進会は、国の目標に沿って改良を進めている鹿児島県乳用牛のうち地域代表を選抜し、比較検討することにより、県の改良水準を見極め、今後の改良上の参考とすること並びに酪農家の改良に対する意識を高め、個体能力の向上による酪農経営の安定を図り、鹿



県ホルスタイン共進会

児島県酪農の発展に資することを目的にしている。今回の視察では、出品する本市生産者への激励と、併せて県内の乳用牛の改良状況や発育・品質管理の現状を調査した。本市からは4部門4頭が出品し、成績は、優秀賞3頭、優良賞1頭、団体賞においては第3位という結果であった。今後関係機関との連携による飼養管理技術の向上への取り組みに期待したい。

志布志市では平成29年度のふるさと納税の目標を23億円に設定しましたが、クリアできました。このことは市内のさまざまな業種の特産品が全国に届けられたということであり、志布志市のPRにつながったと思います。多額のふるさと納税により、市では当初予算ベースで46事業に5億2314万円が充当されました。

観光及び生活環境に関する事業では、空き家リフォーム助成事業など10事業に3386万円、福祉に関する事業ではウエルカム赤ちゃん事業など7事業に1億3526万円、教育文化に関する事業では市内高等学校支援事業など15事業に2億591



## 議員控室 「ふるさと納税に関しての一考察」 丸山 一

7万円、その他市長が必要と認める事業ではプレミアム商品券発行事業など14事業に9483万円などの貴重な財源となり、寄附をいただいた皆様に心より御礼を申し上げます。

市内にはまだまだPRできる特産品があり、世の中にほとんど流通していない幻の蜂蜜（日本ミツバチの「蜜みつ」と銘打ち、全国へお届けするなど、今後も事業の拡大が見込まれます。ふるさと納税が今後いつまで続くか分かりませんが、少しでも市民の福祉向上や生活環境改善につながればと考えます。

## どうぞ傍聴席へ 次回定例会は3月です

市ホームページのトップページのここをクリックするとご覧いただけます。

市議会定例会  
平成26年7月11日  
条件付一般議案  
平成26年7月11日  
市議会定例会

◎開会中は、本会議の様子をケーブルテレビの112チャンネルで生放送しています。また、当日の午後8時から録画再放送もあります。  
◎インターネットでもライブ中継と録画中継を公開しています。志布志市ホームページからご覧ください。  
志布志市トップページ≫志布志市議会≫議会中継≫議会中継へ

## 編集後記

長岡 耕二



新しい年が明け、2018年がスタートしました。今年も成年で昔から「食べ物に困らない」、「勤勉で働き者」、「道に迷わない」などといわれています。

本市は数十年前より日本の食糧基地といわれ、港湾整備等が進められてきました。移動手段を自動車交通に大きく依存している本市において、東九州自動車道や都城志布志道路の整備、早期実現は「産業の道」、「いのちの道」、「防災の道」として大いに効果が期待されています。

成年にちなみ、道路整備を着実に推進し、早急に実現できるよう私たちも勤勉に、道に迷わず尽力していきたいと思えます。



### 広報等調査特別委員会

委員長

◎玉垣 大二郎

○市ケ谷 山

青野 代村

小八野 村

小長平 山

義耕 栄一

園岡 広浩

行二 海誠

志二 孝

### 発行責任者

志布志市議会議長 岩根 賢二